先生おはようございます、私たちは一年15組の——です、——です。初めまして，どうぞよろしくお願いします。

AAさんの趣味は本を読むことです，特ににする本が好きです。もちろん、ゲームをしたり美味しいものを食べたりすることもあります。彼はすごいと考えています。そして、クラスメイトのみんなも面白い人だと思っています。

AAさんは私についてどう思いますか?

BBさんはクラスで一番背が高い人です。彼は音楽を聴くのが好きです。特に彼のコンピュータとのレベルはに高いです。私たちはよく一緒に図書館に行ったり、食事に行ったりします。彼はとてもすばらしい人だと思います。

では、本文の発表に入ります。

[part1](#part1) // 第7单元

[part2](#part2) // 第8单元

[part3](#part3) // 第9单元

私たちの発表するテーマは““です。

今度、森さんは北京支社へ転勤になりましたね。

ええ、森さんが北京に着いた日に、李さんと馬さんが空港へ迎えに行ってくれました。馬さんが運転して、市内のホテルへ行きました。

ホテルへ行く、森さんは北京のなを見たでしょう。

そうですね。道の両側にはビルがしているし、も車であふれているし、とても（モダン）です。

森さんものをじていましたね。車の中で、森さんは日本の歌を聞きました。馬さんによると、中国でも日本の歌が好きな人は多いそうです。

でも，中国と日本の違いもたくさんあります。中国では握手は普通ですが、日本ではお辞儀が多いです。北京での仕事、森さんは中国には握手であいさつする習慣を知らなかったためにミス（mistake）をしてしまいました。

とはいえ、森さんも中国の特色をたくさん見てきました。ある日，森さんは朝、北京の公園を散歩している時、大勢（おおぜい）の人が太極拳（たいきょくけん）やダンスをしているのを見ました。

朝の運動は確かに体に良いですね。戴さんや李さんたちは小さい頃から、よく公園へ運動に行きました。

そういえば、戴さんと李さんは森さんにずいぶんお世話になりましたね。

そうなんです，それだけでなく、北京のみんなは森さんをけてくれました。みんなは森さんの部屋探しを手伝ってくれました。見つかって、「」をよく知っている馬さんは今度森さんに案内してあげるそうです。

引っ越しの時，李さんと馬さんが手伝いに来てくれますよ。ほかに，冷蔵庫は支社長にもらったんです。

いいですね。北京で働いている森さんはきっと皆さんとしって、をしていけると思います。

以上です。ご清聴どうもありがとうございました。先生からのご質問お願いします。

**二、**

では、本文のに入ります。私たちの発表するテーマは「」です。

暇な日には、森さんはよくと一緒にリラックスしてごしています。ある晩、みんな一緒にカラオケに行きました。その時，戴さんは年上の森さんに『歌いなさい』と言っていました。

ちょっと失礼だと思いますよ。自分より年上の方に「何々ください」と言わないといけません。は使うや相手にがですね。

そうですね。日本人の男性は親しい人に「来い」というような言い方をしてもいいですが、女性は「来てください」や「来て」と言うような言ったほうがいいです。

しかし、な時やに言う暇がない時は使っても大丈夫です。

その後，のある週末に、みなさんはへピクニックに行こうと思っているんです。森さんは家を出かけようとした時に、電話があったので、してしまいました。

森さんは遅刻が少し多いですよね。ところで，今ちょうどピクニックのシーズンですから、は人がいっぱいです。

そうですね。このはだけでなく、公園にもたくさんの人がいますね。そう言えば、北京支社の近くにも公園とスポーツセンターがありますよ。子供たちはよくあそこでをしています。

いいですね。ただし、そのセンターはだそうです。になると、プールをいつでも利用することができるし、会員の家族も割引を受けることができます。

馬さんはたまにあそこで泳ぐことがあります。それて、会員になろうと思っているんです。ところで，うちの＿＿さん，あなたも会員になりたいですか。

そうですよ。でも、私は毎日利用することはできないかもしれませんし、すぐに休暇が近づいています。＿＿さん、前のゴールデンウィークはどうでしたか？

まあまあです、ちなみに小野さんもゴールデンウィークに北京に来る予定です。李さんが小野さんをガイドしました。みんなで太田の家でギョーザパーティーをしました。

太田さんはとても気さくな人だそうですね。森さんはできるだけ連絡を取ろうと思っています。

以上です。ご清聴どうもありがとうございました。先生からのご質問お願いします。

**三、**

では、本文の発表に入ります。私たちの発表するテーマは「北京旅行」です。

ついにゴールデンウィークがやってきました。小野さんは飛行機で北京に着きました。しばらくして、小野さんは長い行列できを終え、李さんと久しぶりに再会しました。

森さんは今日も遅刻しまいました。森さんは小野さんが大きなスーツケースを持っているのを見ました。小野さんによると、お土産をたくさん買って帰りたいそうです。

いいですね。北京のはたくさんありますよ，特に北京ダック。森さんと李さんは小野さんをするために、小野さんを北京にとっておきのお店北京ダック レストランに連れて行きました。

やっぱり、小野さんはこのの料理が好きですね。食事の後、った料理を持ち帰りして、みんなでカラオケに行きました。そういえば、小野さんから，太田さんのギョーザパーティーをみんなで手伝ってほしいってメールがあったんですよ。

ええ、それで、今度はみんな太田さんの家でギョーザを作りました。しばらくすると，餃子ができました。乾杯の後、餃子パーティーが始まりました。

そのとき小野さんは、「20個ぐらいしか食べることができません」と言いました。森さんも「小野さんが作った餃子なら、30個は大丈夫ですよ。」と言ってくれました。

うわー，おもしろいですね。それからある日、李さんと小野さんは太田さんの奥さんと一緒にの近くを散歩しました。

次は参考の場面（ばめん）です。

……

言葉がじないため、さんはにきっと大変だったでしょう？

ええ、そうです。でも、最初は確かにりましたが、今では日には問題ありませんよ。私は今、自分でに行って食材を買うこともできます。

そうですか、夫人さんは本当にすごいですね。

……

ところで、仕事ですから、こちらに来てから太田の奥様もご主人と一緒に旅行に行かれたことはありません。

北京の仕事は大変でしょう。でも、楽しみがいっぱいじゃないですよね。

以上です。ご清聴どうもありがとうございました。先生からのご質問お願いします。